

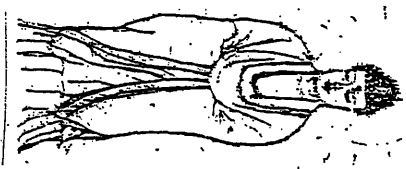
地獄 極楽

悪いことをした人がいるところ  
きれいで楽しいところ

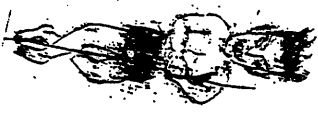


クモ

糸



お釈迦さま



カンダタ

蜘蛛の糸

クモ

いと

挿絵 原作  
書き換え

芥川龍之介  
宮崎妙子  
林虹

人はみんな、死にます。死んだら、どこへ行く  
 ことができますか。  
 極樂へ行く人もあります。行くことができます  
 人もあります。どんな人が極樂へ行くこと  
 ができるでしょうか。いいことをした人で  
 しょうか。悪いことをした人でしょうか。  
 極樂は、きれいで楽しいところです。極樂に  
 は、花がたくさんあります。いろいろな色の花  
 があります。赤い花もあります。白い花もあ  
 ります。花はみんな、とてもきれいです。

(1)



ここは極楽です。極楽には池があります。きれいな池です。池の中に花があります。たくさんあります。赤や白のきれいな花です。

春の朝です。明るくて、気持ちいい朝です。男の人が極楽の池の近くを歩いていました。

この男の人はお釈迦さまです。お釈迦さまは池の近くの花を見ました。そして、「きれいな花だ。」と小さい声で言いました。つぎに、池の中の花を見ました。そして、「これも、きれ

いだーと言いました。池には水がたくさんあります。きれいな水です。水の上にいるいろいろな色の花があります。赤い花もあります。白い花もありません。水の上の花と花の間から、池の花が見えます。池のつと下は、地獄です。お釈迦さまは池のつと下を見ました。地獄にたくさんの方がいます。たくさんの方の中に、男の方がいます。この男の人をお釈迦さまは知っています。



ました。

カシダタはいろいろな悪いことをたくさんしました。でも、いいこともしました。ひとつ、

カシダタが道を歩いて

いたとき、カシダタの前を  
小さいクモが一匹、歩いて

いきました。

「あ、こんなところに一匹、  
クモがいる。」カシダタは足で

クモを殺したいと思いましたが、でも、そのと

き、——待って。この小さいクモは生きてい

る——と思いましたが。

——私と同じだ。私も生きています。このクモ

も生きています。私もクモも死んでいない、生きて

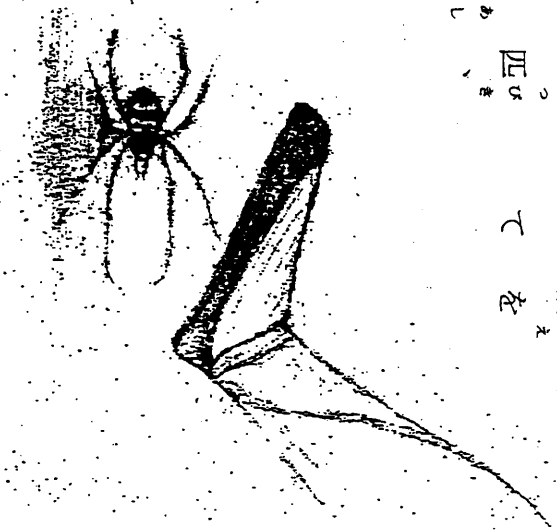
ている。クモは生きているから、クモを簡単に

殺してはいけません。殺してはいいない——と思つて、殺しません

でした。

お釈迦さまは、地獄のカシダタを見て、思いました。

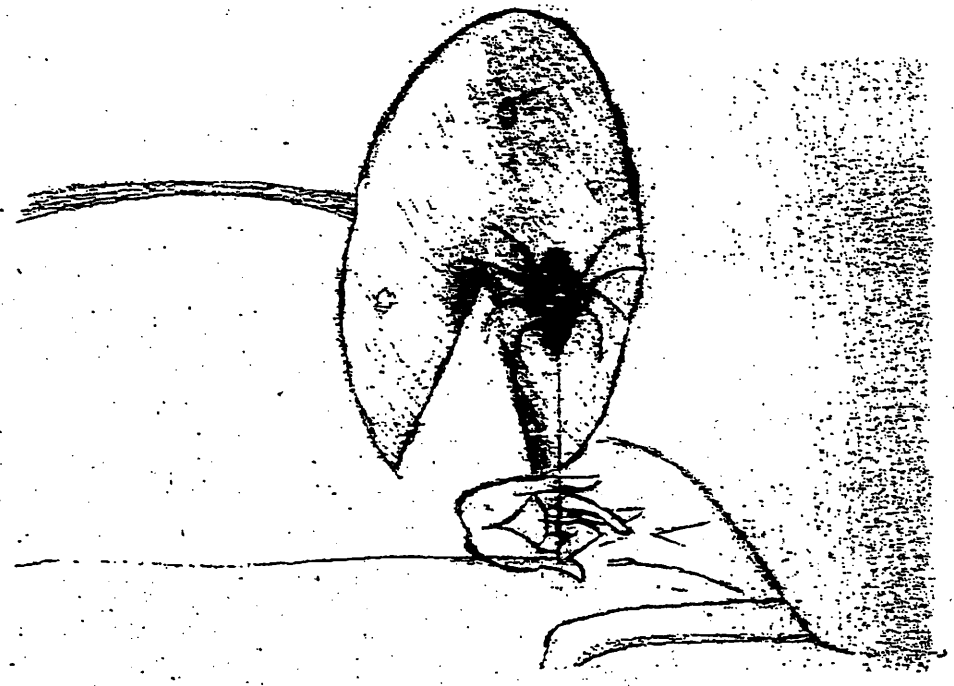
——カシダタは悪いことをたくさんしました。で



も、やさしい気持ちもあつた。クモを殺さな  
かつた。カンダタを地獄から出した。出す  
ことはできないだろうか？――

お釈迦さまは近くを見ました。池の中にたく  
さん花があります。花の近くに葉があります。  
その葉の上にクモが一匹いました。クモは、葉  
の上で、糸を出していました。きれいな糸で  
す。

お釈迦さまは、そのきれいな糸を手にとりま  
した。そして、その糸を花と花の間から水の中  
に入れました。



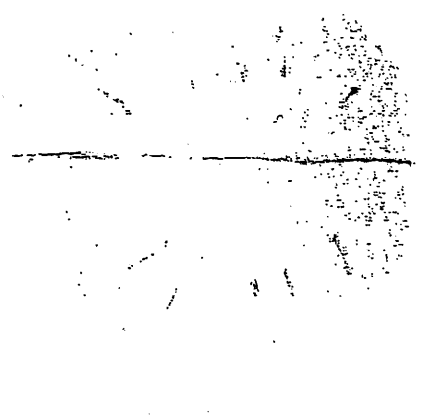
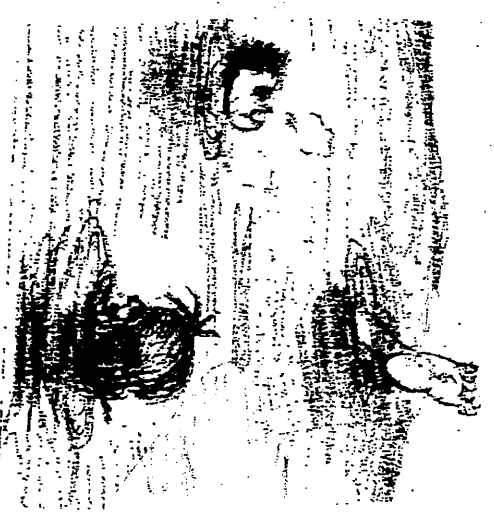
糸は下へ、下へ行きました。ずつと下へ行き  
ました。

ここは、地獄です。地獄には、血の池があ  
ります。血の池は赤いです。たくさん  
の悪い泥棒が人を殺しました。いい  
人たちがたくさん死にました。泥棒  
が殺したとき、いい人たちの体から、  
血の池の血が出ました。血の池の  
血はこの人たちの血です。そして、  
血の池はとて冷たいです。冷たい血の  
池にたくさんのがいます。悪いこと  
をした人たちがです。この人たちは、  
ときどき、冷たくて赤い血の

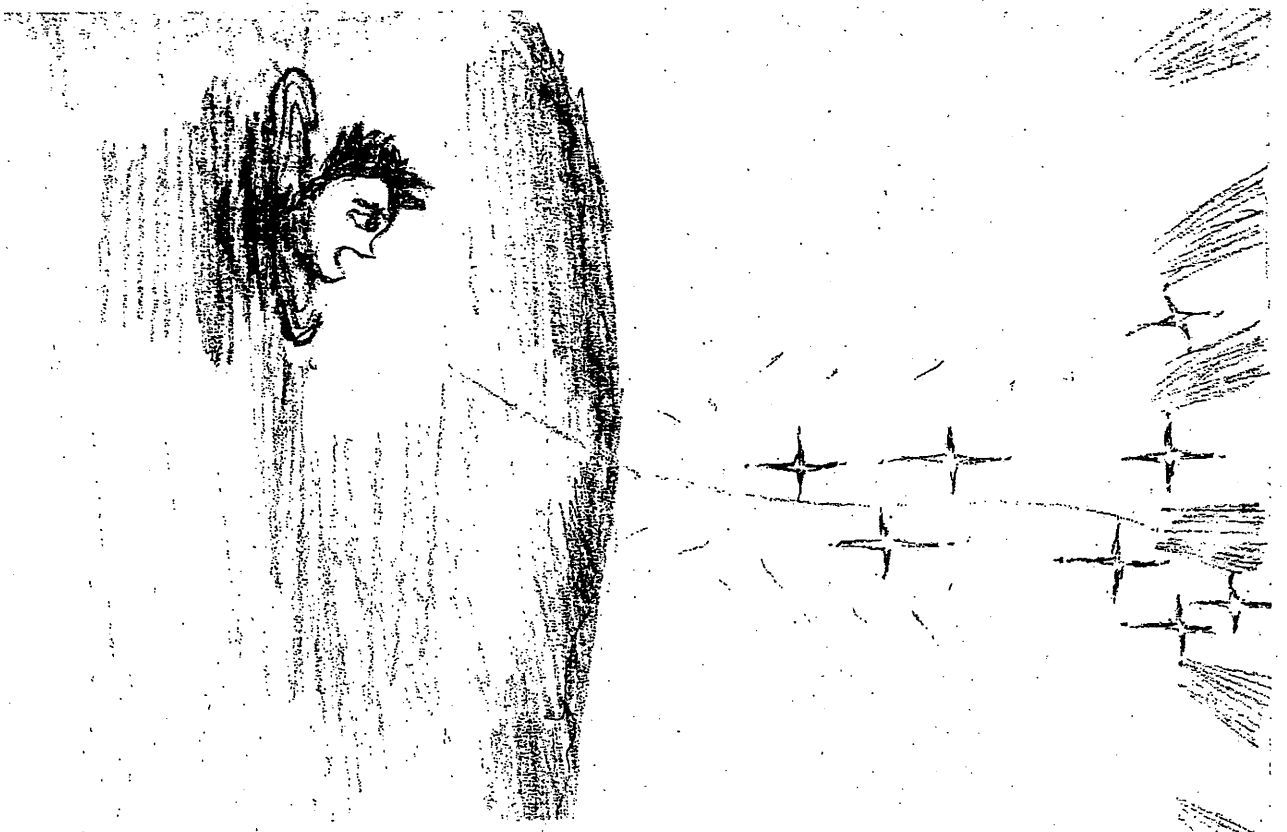
池から頭を出して、「ハア・・・」と言いま  
す。そして、また、冷たくて赤い血の池  
の中に入ります。

この人たちの中に、カンダタがいます。  
カンダタは、冷たくて赤い血の池から  
頭を出しました。この冷たい池は好き  
じやない。この赤い血の池から出たい。  
わたしは悪くないことをたくさんした。  
だから地獄に来た。でも、地獄は好き  
じやない。出ることが出来るだろうか？  
——とカンダタは思いました。そして、  
血の池

の上を見ました。  
 血の池のずつと上は極楽です。その時です。  
 — あ、あれは何だ？ —  
 カンダタは驚きました。ずつと上の遠い遠い  
 極楽から、クモの糸がカンダタのところへ来  
 るのです。

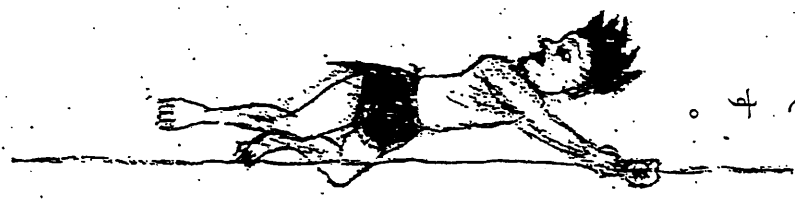


クモの糸です。きれいなクモの糸です。

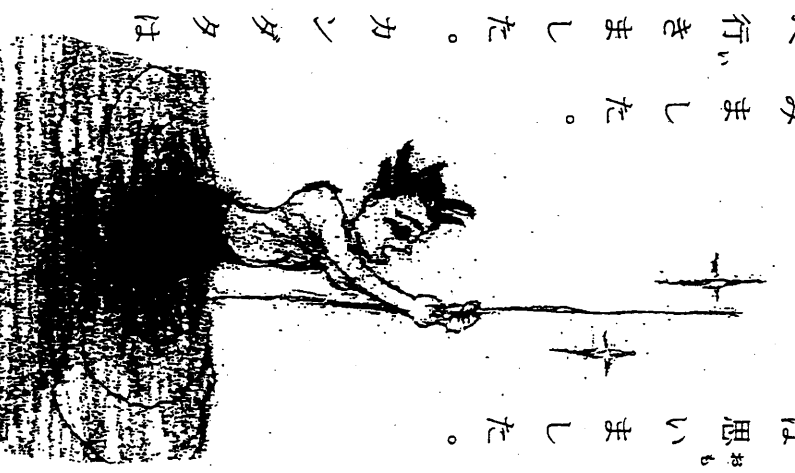




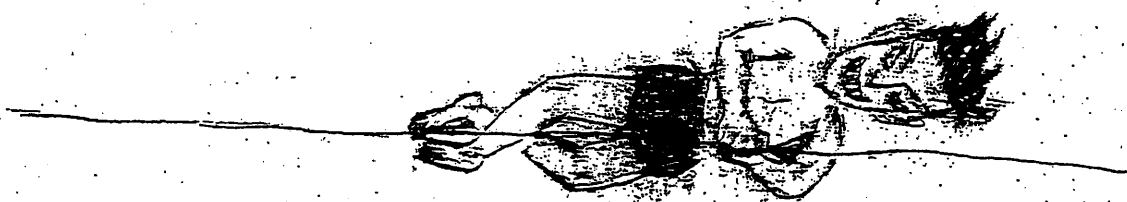
大泥棒でしたから、こんなことはとても上手  
 です。でも、地獄から極楽まで、とても遠い  
 のです。上へ行っても行っても、まだ上があります。  
 カンダダは疲れました。手が痛い。足も痛  
 いです。少し休みたい、とカンダダは思いま  
 した。そして、休みました。下を見ま  
 した。冷たくて赤い血の池は下です。  
 ずつと下です。



ああ、あのきれいな糸を二つの手でつか  
 みたい。二つの手でつかんで、上へ行つたら、  
 この血の池から出ることができる。地獄から  
 出ることができる。そして、上へ、上へ行つ  
 たら極楽まで行くことができるかもしれない。  
 一つの手でつかみました。カンダダは  
 すぐいきいなし、上へ上へ行きました。カンダダは



「二つの手で、きれいなクモの糸をつかんで上へ  
へ行ったら、地獄から出ることができる。ウ  
ハハハ。」とカンダタは大きい声で笑いました。



そうして、また下を見ました。  
「あつ。あれはなんだ！「カンダタはもつと大  
きい声で言いました。  
たくさん人が、冷たくて赤い血の池からき  
れいなクモの糸をつかんで、上へ上へ来るの  
です。カンダタはこれを見て驚きました。  
——これは、クモの糸だ。クモの糸は強くな  
い。こんなにたくさんの人が糸をつかんだら、  
このきれいな糸は切れる。切れる？  
ああ、切れるかもしれない。切れたら、わた  
しはまた、あの冷たい血の池に行く？ 行きた

くない！赤い血の池へ行きたくない。  
地獄へ行きたくない。  
帰りたくない！地獄は好きじゃない。  
極楽へ行きたくない。  
極楽へ行きたくない。  
落ちたくない！  
落ちたくない！

「こら！悪い泥棒たち！  
このクモの糸は私のもの

だ。私の糸と

をつかんで

いけない。上へ来ては

いけない！とカシダタは

大きい声で言いました。

そのときです。きれいなクモの糸がカシダ  
タの手の上です。と切れました。

カシダタは、「あつ」と言つて、冷たくて赤い  
血の池に落ちました。



冷たくて赤い血の池の上に、極楽のきれいなクモの糸が一本見えます。一本のクモの糸はとてきれいです。



お釈迦さまは、極楽の池の上からカシダダを見ていました。

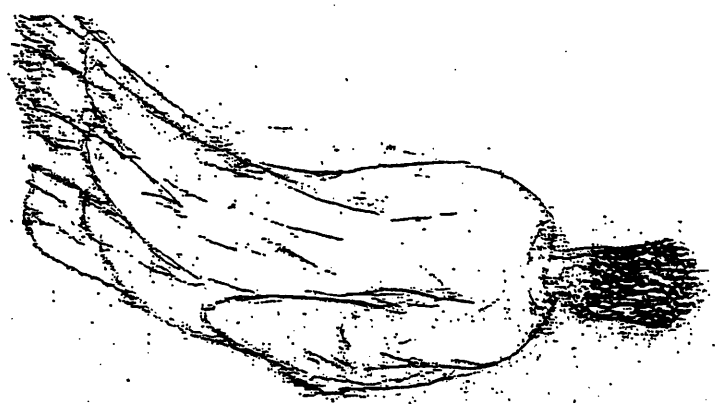
「あゝ、カシダダは血の池に落ちた。私はカシダダを地獄から出すことができなかった。

カシダダは、自分ひとり、地獄から出たいと思

った。『自分ひとり』が大切だった。だから、カシダダはまた、地獄に行った。．．．とお

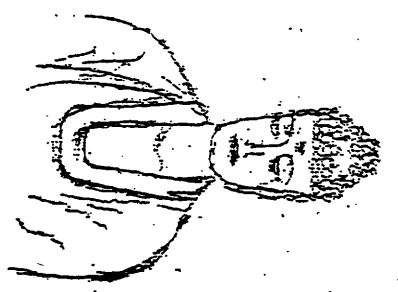
釈迦さまは小さい声で言いました。

( 4 )



花はともきれいで。極楽には、赤や白の花がたくさんあります。  
 明るくて気持ちいい春の朝です。

そして、お釈迦さまは歩いて行きました。



この日本語版ガイド・リーダーは JGR  
プロジェクトグループが開発した試作品です。  
販売を目的としたものではありません。

© 2003 by JGR プロジェクトグループ